

ひねのしょう おおぎ
日根莊大木の里 さと

コスモス園

入園無料

コスモス園は、「日根莊大木の農村景観」
として国の重要な文化的景観に選定され
た大木地区にあります。

また、令和元年に「旅引付と二枚の絵図
が伝えるまち―中世日根莊の風景―」と
して日本遺産に認定されました。

伝統的な農村景観の広がるこの地で、
コスモスを愛でてみませんか。

コスモスの摘み取り販売も行います。
【お一人様100円で5本まで】

Cosmos Garden

2026

10.3 SAT → 10.18 SUN

OPEN 9:00-16:00

※最終入場 15:40
(雨天時、休園の場合あり)



ひねのしょうおおぎさと 日根荘大木の里コスモス園



2026年10月3日(土) ▶ 10月18日(日)

大木まちづくり協議会では、大木地区の自然豊かな環境を皆さんに楽しんでいただけるよう休耕田を活用したコスモス園を開園します。コスモスが満開に咲き誇るよう管理していますので、「日根荘大木の里 コスモス園」にぜひ足をお運びください。

大木地区は平成25年に大阪府で初めて、国の重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」として選定されました。これを契機に、豊かな自然と歴史が息づく環境を次の世代に受け継ぎ、これからの地域のあり方について考えていくため、「大木まちづくり協議会」を発足しました。協議会では、地域を美しくする活動として、コスモス園の他にも国史跡長福寺跡で周囲の景観に調和するよう稲作を行うなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

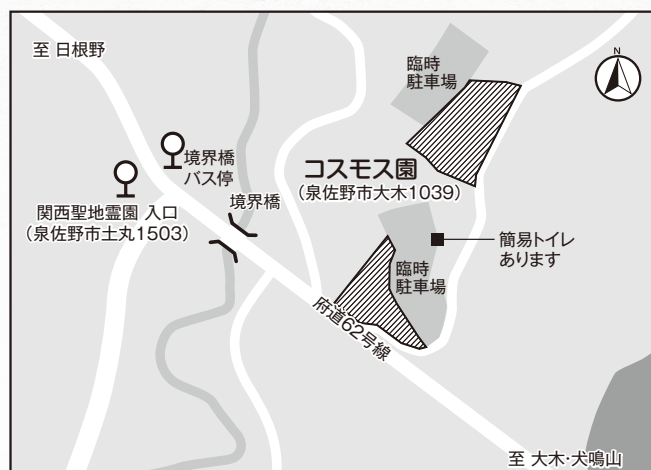
日根荘大木の里コスモス園は、耕耘や草刈りなど5月から準備を進め、7月下旬に種まきを行いました。また、コスモス畑の中を歩いて観賞できるように、通路も設けています。

重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」

泉佐野市大木地区は、和歌山県との境をなす和泉山脈の豊かな自然に恵まれ、山間部の盆地ならではの地形を活かした伝統的な農村風景が広がっています。また、国史跡「日根荘遺跡」に指定された日根荘由来の寺社やお堂などにより、朗々と歴史が伝えられています。現在の大木地区は、日根荘の時代には入山田村と呼ばれ、上大木、中대木、下大木は、それぞれ船淵、菖蒲、大木に当たるとされています。日根荘の領主であった九条政基が文亀元年(1501)から4年間長福寺に滞在し、当時の日根荘に暮らす人たちの様子を詳しく記した『政基公旅引付』の舞台ともなりました。

このような豊かな自然と中世荘園に由来する土地利用のあり方が評価され、平成25年10月17日、「重要文化的景観」に選定されました。この景観は、中世まで歴史的変遷をたどることができる貴重なもので、地域の大切な財産として次の世代へ受け継いでいきたいものです。

日根荘大木の里 コスモス園 MAP



当コスモス園は、スタンプラリー「ぐるっと泉佐野スタンプコレクション」対象のイベントです。

文化的景観とは

平成16年の文化財保護法改正により文化財に位置付けられてから令和6年度で20年を迎えました。文化的景観とは、「地域の人々の生活や生業、風土により形成された景観地で、国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」とされています。文化的景観のなかでも特に重要なものに関しては、国が「重要文化的景観」として選定します。

※令和8年2月末現在、全国で74件が重要文化的景観に選定されています。

日本遺産



「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る、文化庁認定のストーリーのことです。泉佐野市が誇る3つのストーリーのうち、「日根荘大木の農村景観」は、「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」、「『葛城修験』—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地—」の2つの日本遺産の構成文化財となっています。

アクセス

南海・泉佐野駅もしくはJR・日根野駅から南海バス723系統「犬鳴山」行き乗車、「境界橋」下車、歩いてすぐ。看板やのぼりが目印です。

◎コスモス園に臨時駐車場を設けていますが、できる限り公共交通機関でお越しください。

コスモス園の開花状況、雨天時の休園情報、開園判断等について

二次元コードを読み取り市ホームページにて確認、または下記の問い合わせ先におたずねください。



主催：大木まちづくり協議会 後援：歴史街道推進協議会

お問い合わせ：泉佐野市生活産業部 文化財課
〒598-0056 大阪府泉佐野市元町4-5 旧朝日湯内
TEL 072-447-6766 (平日8:45~17:15)

<https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seikatsu/bunkazai/index.html>